マップ No.7

西播磨の山城

NISHIHARIMA MOUNTAIN CASTLE

しらはたじょう

白旗城

上郡町

180min.(往復)

見どころポイント(山城ピクトグラム)

特におすすめ

合戦舞台

標高	約440m
体力度	★★★★★
技術度	★★★★☆
対象	中・上級者
駐車場	あり バス駐車可(中型)
トイレ	山中に一箇所
備考	城跡へは北側の赤松口、南側の野桑口の両方から近畿自然歩道を通って登れます。

白旗城の詳細はコチラ!
山城に登っている動画もcheck

野面積(のづらづみ)　布積(ぬのづみ)　切岸(きりぎし)　帯曲輪(おびくるわ)

【観光案内】上郡町観光案内所　TEL.0791-52-6959

概 要

主な城主：赤松円心
標　　高：440m
形　　態：梯郭式山城(中世)

白旗城跡は、標高440メートルの急峻な白旗山の山上に位置し、全長470メートルに及ぶ大規模な梯郭式形状を持ち、東西約560メートル、南北約400メートルの範囲に、本丸、二ノ丸、三ノ丸、櫛橋丸、馬場丸のほか、土塁や堀切などの遺構が多く残っている貴重な山城です。
平成8年3月24日に感状山城跡(相生市矢野町)・置塩城跡(姫路市夢前町)とともに、赤松氏城跡として国指定史跡となりました。
難攻不落にあやかって、合格祈願の「落ちない城　白旗城」絵馬をJR山陽本線上郡駅前の観光案内所と赤松公民館で販売しており、山麓には自動販売機(100円玉5枚専用)もあります。山頂と山麓、智頭急行河野原円心駅に絵馬掛所もあります。

【歴 史】

赤松円心(則村)により建武3年(1336年)に築城された山城で、西国へ敗走する足利尊氏を追う新田義貞の6万の軍勢をわずか2,000の兵で50日余り防ぎ止めたと言われる難攻不落の名城です。この働きにより、勢力を盛り返した尊氏は、後に湊川の合戦で楠木正成らに勝利し、室町幕府を開きました。
この時の功績により、円心は播磨国の守護として室町幕府の重鎮となりました。白旗城は、たつの市新宮町にある城山城(きのやまじょう)とともに赤松氏初期の本城でした。
嘉吉(かきつ)の乱で赤松惣領家が滅んだ後も、赤松氏の重要な拠点として使われ、南北朝時代から戦国時代(14世紀～16世紀)にかけて、戦乱の中で白旗城は何度も歴史の舞台に登場しますが、記録の上では一度も落城したことがありません。

発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205　兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25　TEL 0791-52-2144

LET'S GO YAMAJIRO

管内の主な山城

2026年6月改訂

復原図

「中世播磨250の山城」(中世城郭研究家 木内内則)

登山口までのアクセス

電車の場合	JR姫路駅	JR山陽本線 約30分	上郡駅	智頭急行智頭線 約10分 / 徒歩 約20分	河野原円心駅 → 赤松口
バスの場合	野桑バス停	徒歩約5分			野桑口
バスの場合	細野口バス停	徒歩約5分			赤松口
車の場合	中国自動車道『佐用IC』	約30分			赤松口駐車場
車の場合	山陽自動車道『龍野西IC』	約40分			赤松口駐車場

白旗城登山口

●運行日や時間は下記にお問合せ下さい。

上郡町コミュニティバス「愛のり号」(TEL.0791-52-1162)

播磨化学公園都市圏域定住自立圏 圏域バス「てくてくバス」(TEL.0791-52-1162)

株式会社ウイング神姫路線バス 相生営業所(TEL.0791-22-5180)

登山の装備と持ち物チェックリスト(一例)

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

- □ タオル
- □ ゴミ袋
- □ 雨具(カッパ等)
- □ 絆創膏
- □ 着替用肌着
- □ 虫除けスプレー
- □ 水・飲料
- □ 登山用ステッキ

西播磨の山城御城印

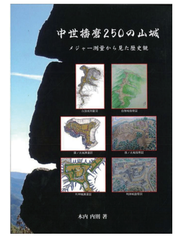
西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

在庫状況については各店にお問合せください
デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則(きうちただのり)氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城(りかんじょう)、篠ノ丸城(ささのまるじょう)の想像復原図などが追加掲載された改訂版。



西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城　西播遊記　Instagram　X　You Tube

⚠山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

⚠ヤマビル(6月～9月は特に注意)

- 肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。
- 咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
- 虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
- 吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

⚠スズメバチ(7月～10月は特に注意)

- 攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
- スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
- 刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

⚠毒蛇(マムシ・ヤマカガシ)

- 藪や茂みに入らない。
- 咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

⚠マダニ

- マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
- 肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。
- 咬まれた時は自分で除去せず医療機関(皮膚科等)を受診しましょう。
- ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間は様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

⚠クマ

- クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
- 大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せて逃げないようにしましょう。
- 子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように!

⚠毒キノコ

- 誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
- 外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
- 山でキノコは採らない、食べない!を徹底しましょう。

テングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。

ドクツルタケ
日本で見られる中では最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則
原則1 採らない!
原則2 食べない!
原則3 売らない!
原則4 人にあげない!